vol.4

インコが人気の秘密。

日本では、多くの人が小鳥と一緒に暮らしていますが、その多くがインコ類となります。人気の理由としては、羽色がきれい・人に慣れやすい・動作がかわいい・ものまねをする・巣引き容易等の点があげられると思います。インコですが多くの種類が存在します。ボタンインコ類やコザクラインコ類は、オスとメスの仲がとてもよいことから『愛の鳥』（ラブバード）と呼ばれています。その多種多様なインコの中でも代表としてあげられるのが、セキセイインコではないでしょうか。このセキセイインコ、もともとはオーストラリア南部が原産地と言われています。今でこそいろいろな色の小鳥たちがいますが、原種は胸と腹が緑色で、背中は黄色の地に黒いシマが入っていたものとされています。日本には明治に入ってから初めて輸入されましたが、その珍しさからとても高価な鳥として扱われました。それが非常によく繁殖をするために次第に安くなっていき、今ではいずれの種類にせよ誰もが手の届くところになったのです。

インコの特徴としまして、くちばしは鷹のように湾曲し先端は鋭く尖っており果実や種子をつまむことができるようになっています。舌は食物を味わうだけでなく物体を識別する時にも使われます。一般的な性格としては、明るく陽気でにぎやかです。新しいもの、珍しいものが好きで、初めて見るものには興味を示して、観察します。害がない相手だとわかると友達になろうとします。人に慣れやすいのもこうした性格からきているのでしょう。インコはオウムの仲間ですから、ほとんどの鳥がものまねをします。歌うということは、異性の関心を引くという意味がもっとも大きいのですが、他にも気分がよいときに気分が高まって鳴くこともあるようです。ただ個体差がありますのでどの鳥も同じようにというわけにはいきません。インコは記憶力がよく、愛情深く接してあげると、よく親しみ他人との識別をしてくれます。飼い主に甘えたり、スキンシップを求めてきてくれる様はきっとあなたを癒してくれるのではないでしょうか。

「ケージ（鳥かご）」

羽を伸ばしてぶつからない程度 40cm×40cm の大きさが必要。
動き易い大きめがお薦め。 餌入れや水入れも必要 （ケージに付属も多い）
＜安全な場所で人間の目線の位置に置く。 室温 25 ～ 30℃がベスト＞

KAWAI